

東日本大震災被災地ボランティア活動新たな展開へ ～朝日山一男先生が宮城県亶理町でのボランティア活動と宮城県南三陸町・福島県南相馬市に視察に行かれました～

7月24日、朝日山一男先生が宮城県亶理町に鍼・マッサージ・ハーモニカ演奏のボランティア活動に（一社）神奈川県鍼灸マッサージ師会の活動の一つとして行かれました。

亶理町は、復興住宅が東北地方で最も早く出来、仮設住宅で生活されていた方々の90%が復興住宅に移転されているそうです。そこで、今後は残る10%の方々の対応に加えて南三陸町での活動と南相馬市での原発事故および津波被害に合われた方々へのボランティア活動に移られることになりました。

8月7日と8日に南三陸町と南相馬市に視察に行かれ、南三陸町では津波に襲われた土地のかさ上げ工事が途中の段階で、商店といえば仮設の「さんさん商店街」のみという状況だったそうです。また、南相馬市では原発事故での汚染のために自らの土地に帰れない方々と津波にあわれた方々の住む仮設住宅を見られたそうです。今回の視察で朝日山一男先生は「今後、これらの地域での支援の必要性を感じ、継続してボランティア活動を行っていくことの重要性を感じました。」と話されていました。

今日まで多くの帝京大学の学生さんがこのボランティア活動に参加されましたが、数々の体験によりそれぞれの思いを感じられたみたいです。

ボランティア活動を希望される学生さんは、是非、朝日山一男先生まで連絡してみてください。



亶理町集会場での活動



南相馬市の仮設住宅